

鏡野中学校三年 奥田 紗理奈
○木の影が私と並んで背比べ負けた
くないと背伸びしてみる

《宇佐見賞》

上齋原中学校三年 小椋 雄大
○夏がきたこの山ひとつのりきれば
無限に広がる自分の未来

俳句の部

〔小学生の部〕

《入選》

香々美小学校四年 井口 和哉
○くわがたをひみつのばしよでつか
まえた

《佳作》

南小学校六年 三木 穂波
○寝返りを何度うったか熱帯夜

香々美小学校四年 田上 大輝
○ひまわりとせいくらべしてまけま
した

《宇佐見賞》

上齋原小学校二年 山口 まや
○秋になり空にいわしがおよいでる

〔中学生の部〕

《入選》

鏡野中学校三年 西村 佳穂
○サイダーに時間はじけるププツと

《佳作》

鏡野中学校三年 片山 文里
○セミの声勉強中のBGM

鏡野中学校二年 立石 鈴依
○時を止めみなを引きこむ火花かな

《宇佐見賞》

鏡野中学校二年 大林 まいこ
○てれてるの真っ赤に染まったミニ
トマト

川柳の部

〔小学生の部〕

《入選》

鶴喜小学校五年 神野 流世
○ぼくが今やろうとしたのなんと言う

《佳作》

南小学校二年 杉本 晴花
○おくつこの火花があがるドンドドン
鶴喜小学校四年 山本 真依香

○おばあちゃん長生きしてね病気せず

《宇佐見賞》

南小学校三年 西村 琉碧
○イルカさんちよつとのせてよその
せなか

〔中学生の部〕

《入選》

鏡野中学校三年 宇田 奈々絵
○とうちゃんに似てると言われちょ
いへこむ

《佳作》

鏡野中学校二年 中江 玲奈
○お手伝い言われる前に母の笑み

鏡野中学校二年 住吉 麻生
○節電で一つの部屋に大集合

《宇佐見賞》

鏡野中学校三年 内海 鎌
○夏休み今日はいったい何曜日

第十六回 香々美川文芸選奨入賞作品

短歌部門

《大賞》

早島町 山内 圭介
○雪を積む岩の狭間を抜け出でて流
るる水は小さく渦巻く

《香々美川賞》

美作市 山本 美枝子
○目高五尾住まはす鉢に映し見る十
六夜の月幽かに揺るる

《優秀賞》

美作市 福島 美智子
○玉砂利にちひさき影を落としつつ
秋茜とぶ涼を振り撒き

《奨励賞》

美作市 豊田 絢子
○山道の樹々の影をし踏み行けば背
について来る秋の歩みよ

《宇佐見賞》

鏡野町 池田 信子(政影 信子)
○立葵咲き登りゆき悲しみの徐徐に
薄らぐ如く陽のさす

俳句部門

《大賞》

鏡野町 定久 京子
○封じたる刻ほどきつつ蓮の花

《香々美川賞》

鏡野町 西村 なほみ
○水清き里の竜胆濃かりけり

《優秀賞》

鏡野町 池田 志げ子
○水澄むや城趾の麓渡し跡

《奨励賞》

久米南町 久住 尚子
○心まで浸してみたき清水かな

《宇佐見賞》

鏡野町 安藤 時子
○花曇り城址となりて幾星霜

川柳部門

《大賞》

美咲町 永濱 さわ子
○おだやかな川の流れに鬼の面

《香々美川賞》

岡山市 竹原 汚痴庵(三郎)
○たそがれて故郷の土に根を下ろす

《優秀賞》

岡山市 野島 全
○ゆつくりと川は遺言語り継ぐ

《奨励賞》

津山市 安東 千世子
○心が乾き喉が渴いて森を吸う

《宇佐見賞》

岡山市 安原 博
○休耕田遠くに飢える国がある

